

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクス運動療育クラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 6日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 6日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラム内容の充実とプールがあること	子ども自身が主体的に取り組みたいと思えるような遊び感覚の要素を取り入れることで、まずは子ども自身が実際に取り組むことができる。そこでしっかり挑戦したことや助言など、前向きな言葉かけができるように取り組んでいる。	ITを活用して、自分たちが思考して考える案以外のプログラム情報も取り入れ、さらに幅広い企画を提案していく。
2	スタッフのチームワーク	会議や日頃のミーティング以外にも積極的に会話をする機会を設け、業務や個人の思いなど、各自の価値観を共有しあえるようにしている。	みんなで仕事以外のコミュニケーションや活動ができるレクレーションの企画も取り入れていきたい。
3	ポジティブ視点での支援体制	リフレーミングの力をつけ、子どものネガティブな言動に対して肯定的な声掛けができるように意識している。表情や声のトーンなども意識するよう専門的なコミュニケーション技法も取り入れて支援を行っている。	よりハイレベルな研修等を取り入れてさらなる向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信 (SNSなどの活用)	優先度をつけている業務に主に時間を割くようになるため、当事業所にとって優先度が低いSNS発信に関する業務時間配分が少なくなっている。	担当を配置したり、配信のタイミングを決め、定期的に情報発信できる体制をつくる。
2	地域とのつながり	室内で行う支援の体制のため、地域の中で活動する機会が作りにくい。	利用されているご家庭は、現在の形態を望まれている方が多く、地域の中での活動のニーズが低い状況であるが、細やかにご利用家庭の意向を確認する機会を持ち、要望の声があればそれに応じていける準備を日頃から検討しておく。
3			